

当院では、医療従事者の負担軽減および処遇改善のため、多職種において次のとおり取り組みを行っております。

●勤務医負担軽減に係る目標及び達成度の評価

分野	現状	令和6年度の目標	目標達成のための必要な手順
看護業務	医師からの許可があった退院調整	看護師による退院調整の確立	退院調整システム、退院支援チームの運営のサポート、退院調整看護師の増員
	検査に付随する説明の実施	説明する検査項目、内容の拡大	説明可能な検査についての医師との打合せ検査説明者の養成を行う
	看護師による静脈注射の実施	全面的に看護師が実施する	実習装置「腕自慢」を活用し研修を実施。100%看護師が実施できるようレベルを上げる（継続）
	医師の包括指示に基づく薬剤の投与	事前の医師の指示の範囲内で看護師の観察・アセスメントに基づき投与できる薬剤の種類や指示の拡大	これまでのインシデントに基づき、医師や薬剤師と話し合い、医師の包括指示の内容を確認、見直しを行う
薬剤業務	持参薬の院内採用薬への切替	薬剤師による処方支援業務の実施	医師と協働のプロトコール作成
	患者の状態を把握した上での処方提案	的確な処方提案、マイナートラブルの処方提案	検査値、回診、各種チーム会の参加
	VCMのTDM業務	すべての症例の投与设计・TDM実施	医師と協働のプロトコール作成
	処方支援業務	定期処方のリマインド、緊急・退院処方の事前確認	医師と協働のプロトコール作成
	院外薬局からの疑義照会への対応	薬剤師による疑義照会対応の実施	医師と協働のプロトコール作成
医療機器管理	医療機器の中央管理	人工呼吸器使用中の機器管理及び安全管理	オンコール体制の設定
検査業務	術後臓器の写真撮影	容易なケースにおいては切開し写真撮影	解剖学的知識の習得
	NST、ICTの参加	検査技師の行える業務の積極的参加	専門性の勉強
	超音波検査による乳がん検診	乳がん超音波検査の知識と技術の向上	学会・研修会等への参加により知識・技術の習得
	超音波検査によるVA管理	シャント超音波検査の知識と技術の向上	学会・研修会等への参加により知識・技術の習得
事務業務	診療科毎の超過勤務管理の必要性	集計表を用いて月々管理する	管理に必要な集計資料の作成、超過勤務の管理については、労働安全衛生委員会で検討する
	超過勤務が多い医師・診療科の指導	医師毎の業務内容を把握して改善を求める	医師事務作業補助者の増員
	医師事務作業補助者の業務効率化	医師事務作業補助の業務内容を見直し、より効率化を図る	医師事務が可能な新たな業務を増やすべく医師から意見聴取を行う。医局会等でも検討。医師事務補助者の外部研修参加
	オンライン診療	オンライン診療の支援	オンライン診療を補助する医師事務作業補助者を配置
処遇改善	休日・夜間等の看取り対応について	休日、夜間の看取り等に関しては、DNARがとつてある患者の場合、主治医は行わず当直医が代行で行う	病棟看護師は主治医に連絡後、当直医に連絡し、当直医が死亡確認及び死亡診断書を作成する。また、原則、医師はお見送りに参加しないようにする
	手術日前日の当直	手術日前夜の当直の廃止	外科医師当直日の固定（水・金・土）

処遇改善	病児保育の一部負担補助	病児保育を利用した時に最大2,000円の補助を行っている制度の職員へ再周知	漏れなく届出するよう職員への周知を徹底する
	療養休暇の充実	リフレッシュ休暇、バースデイ休暇など、休暇を取得しやすい環境にしていく	各部署の職場長から休暇の取得を促す